

# 北海道大学医学研究院免疫学教室 助教（常勤）募集

## 1. 求人内容：助教1名

北大免疫学教室は1922年に細菌学教室として発足し、インターフェロン発見者の長野泰一博士を輩出するなど、長年にわたり感染症、感染免疫等の分野にて知られた伝統ある研究室です。第6代教授の小林（テキサスA&M大学兼任）の着任に伴い新しい教室となりました。この度、研究室の拡張に伴いスタッフを募集します。

## 2. 研究および職務内容

当教室の研究目標はNLR蛋白ファミリーによる獲得免疫系活性化メカニズム、さらに癌、感染症および炎症性疾患における役割です。MHC遺伝子は獲得免疫応答にて最重要な分子ですが、MHC class Iの発現メカニズムは私達がMHC class Iの転写活性因子を同定するまで多くが未知でした。また、癌の主要免疫回避機構の発見に伴い、癌治療薬とバイオマーカーの開発を進めています。具体的にはNOD2遺伝子変異による腸管細菌フローラへの影響、クローン病モデルを用いた新しい治療薬の開発、NLRC5 / CITAによるMHC class I分子転写機構、癌細胞の免疫系からの逃避機構および新しい癌治療薬、ワクチンの開発等を行っています。研究の概要については、

<https://hokudaiimmunology.wixsite.com/kobayashi/blank-15>

<https://research.tamhsc.edu/kobayashi/kobayashi-lab-research/>

を参考にして下さい。

技術的には免疫学的手法（FACS, adoptive transfer等）、細胞学的手法（培養、イメージング、CRISPR/Cas9等）、組織学的手法、遺伝子組み替えマウス作成、遺伝学的手法（CROPseq, scRNseq, microbiome analysis, 大データの統計学的処理）等を用いています。

採用するに当たっては、1) 細胞免疫学の技術、知識 2) Mycobacterium菌遺伝子組み替えの技術 3) バイオインフォマティクス、大データの統計学的処理能力 のある方を優先して考慮致します。

研究室のスタッフ及び学生には海外出身者が含まれ、研究室のミーティングは基本的に英語で行われます。スタッフには国際学会への積極的な参加、外部研究費の獲得が求められます。研究以外の業務として、医学部学部生の実習や教育、大学院生の指導等が含まれます。

## 3. 応募資格

- ・積極性があり、周囲との協調性を保って研究を進めることができる方。
- ・学位習得後7年以内くらいの研究者が望ましく、日常の研究およびコミュニケーションに支障がない英語力が必要です。
- ・国籍、性別、年齢は問いません。

## 4. 着任時期

2020年1月1日以降

## 5. 提出書類

研究業績リストを含む履歴書、今までの研究概要（1ページ以内）、推薦者（2～3名）の連絡先 上記の書類をEmailにて松川宛<cmatsukawa@med.hokudai.ac.jp>まで送付ください。

## 6. 問い合わせ先

小林弘一

北海道大学院医学研究院免疫学教室

〒060-8638 札幌市北区15条西7丁目

Koichi Kobayashi, MD, PhD

Tel 011-706-5056 Fax 011-706-7866

e-mail: kskobayashi@med.hokudai.ac.jp